

学外施設（岡山大学以外の医療系教育機関等）よりの受託実習生受け入れ時の留意点

受託実習生の受け入れにあたっては、以下のことに留意することとし、受け入れの可否については、新型コロナウイルス感染状況や実習内容等を勘案して受入部署において判断することとする。

- ◎ 本院が定める「重点警戒地域」（随時、変更されるので、病院ホームページを参照すること）に在住の者については、
 - ・ 新型コロナウイルスワクチンを2回以上接種した者：原則、直近1週間（7日間）、岡山県内に入っていて（県外に出ずに）無症状を確認できた者を受け入れる。
 - ・ 新型コロナウイルスワクチンを接種していないか1回のみ接種した者：原則、直近2週間（14日間）、岡山県内に入っていて（県外に出ずに）無症状を確認できた者を受け入れる。
 - ・ 上記の7日間あるいは14日間、岡山県内に待機することが不可能な場合、岡山県内に一定期間以上待機したうえで、周辺の病院かクリニックで実施されるPCR検査（4日間（96時間）以上経過しての鼻咽頭ぬぐい検査、あるいは、5日間（120時間）以上経過しての唾液検査）にて陰性が確認され、検査後も岡山県より外に出ない者を受け入れる（岡山大学病院で検査する際は自身のカルテを作成する）。
 - ◎ 病院実習中、正当な事由のないかぎり、本院の定める「重点警戒地域」に入らない者を受け入れる。
 - ◎ 最適な感染防止策を徹底するとともに、今後、岡山大学病院やその周辺でCOVID-19感染（疑いを含む）が判明し、濃厚接触者同定のための調査が必要な場合、岡山大学や関係行政機関との間で個人情報などが共有されることに同意した者を受け入れる。
- ※ 最新の重点警戒地域は[ホームページ（こちら）](#)でご確認ください。

（1）病院実習を開始するための4つの必要条件

1. 上記のとおり、岡山県より外に出ていない期間が7日間あるいは14日間以上続いている。または、一定期間以上待機したうえで、PCR検査にて陰性が確認され、検査後も岡山県より外に出ていない。
2. 直近2週間（14日間）、37.5度以上（あるいは、平熱より1度以上）の発熱、咳・鼻水、咽頭痛、嗅覚・味覚異常、倦怠感、嘔吐・下痢などのCOVID-19を疑わせる症状が出ていない。
3. 直近2週間（14日間）、普段接触している方が上記2.の症状を呈さず、また、COVID-19に罹患していない。
4. 直近2週間（14日間）、飲み会・懇親会・歓送迎会への参加、カラオケ・スポーツジム・接待を伴う飲食店の利用、イベントや集会への参加、アルコール提供・接待を伴う飲食店やカラオケ店でのアルバイト従事を行っていない。

（2）病院実習を継続するための5つの必要条件

1. 毎日、通学前に検温して、その結果を記録に残す（「学外施設よりの病院見学・実習生等の体調記録用紙」に記入）。
2. 37.5度以上（あるいは、平熱より1度以上）の発熱、咳・鼻水、咽頭痛、嗅覚・味覚異常、倦怠感、嘔吐・下痢などのCOVID-19を疑わせる症状があれば、必ず、担当教員に連絡して、岡山大学病院を含む鹿田地区に入らず、無理せず休むことにする。
3. 上記の症状があれば、担当教員の指示に従いながら、病院・クリニックを受診する。
4. 病院内では、常時、マスクを着用する。頻回の手指消毒を励行する。
5. 「重点警戒地域」への私的移動や感染予防対策上の行動制限など、本院が定めるルールを厳守する。

感染制御部作成（2022年1月11日）